

留学報告書 ～初めての経験ばかりの留学生活～

アルムスリム大学
国際文化学部生（中期）

私は2019年8月から2月までインドネシアのアルムスリム大学に中期留学をしました。インドネシアは東南アジア南部にあり、世界で最も多い約17000以上の島を持つ国です。人々が生活するだけで9000にも及びます。そのため多様な文化と美しい自然が各地域に息づいていて、少し離れた地域に行くだけで違う文化が楽しめる魅力的な場所です。

大学のあるマタンという場所は、日本とは全く違う場所です。信号はほぼ無く、車が主流ではなくバイクで移動することがほとんどです。ここで初めてバイクに乗りました。そしてアチェはインドネシア内で唯一イスラム法（シャリーア）というイスラムの法律があります。例えば、女性は体のラインが出る服やタンクトップやミニスカートなど足がくるぶしより出るものは着ないこと、未婚の男女が密室で二人きりになるのはよくないなどアチェの人達のための法律です。外国人の私たちはあまり関係ないと思うが、ここに留学に来たからにはこの人々に配慮し自分たちの服装なども気を付けるようにしました。行く前や着いた頃はルールが多くて現地の人は自由に服や恋愛ができないと思っていましたが、みんな制限の中でおしゃれしていて恋愛も楽しそうにカフェなどで話していたので慣れれば全然不自由な面はないと感じました。イスラム教は一日5回の礼拝があり、その時間にはアザーンという放送が流れて、人が一気に町からいなくなり礼拝をします。金曜日のお昼には男性のみがモスクに行きます。そのため授業が午前中に終わるようになっていました。宗教の関係で時間割が変わることは日本ではないことなので驚きました。

大学では、英語はもちろんインドネシア語やインドネシアの環境や文化など様々なことを勉強しました。中でも私は環境学と一緒に勉強していた、地理学部の子と非常に仲良くなりました。そして地理学部のプログラムに参加させていただくことが多かったです。海にゴミ拾いに行き砂浜にゴミを捨てないように動画を撮りました。また離れた地域を訪れてアチェの昔を学ぶことや仏像がある塔を訪れるなど旅行に行きました。初めて現地の学生と行く旅行だったのでとても楽しかったです。言葉の壁がやはりありましたが、みんなが「元気？」や「次はここに行くよ」など学校生活でもそうですが、インドネシアの人達は全員面倒見がよく、とても親切にしてくれて感謝してもしきれませんでした。

町を歩くと外国人というのは珍しい存在だったので歩いているだけで話しかけられることや写真を撮られることが多く、インドネシアの人は明るく、陽気なことがよくわかりました。例えば私が道を歩いていた時に、急におばさんに話しかけられてそこから仲良くなって日本語と英語を教える仲になったこともあります。私は、人見知りしやすい性格なので、友達や町の人に「ご飯は食べた？」や「どこに行くの？」など話しかけてもらって様々な人コミュニケーションが取れて本当に楽しく、友達が出来やすい環境でした。



授業以外のプログラムで村に2週間インターンシップに行き、とても貴重な体験をさせて頂きました。行く前までは、学生が村の人を助けるために行くのに、まだ言葉も完璧に通じない留学生が行って村の人や友達に迷惑が掛からないか大変心配でした。村ごとに6人グループで行動していました。初めの一週間、私は英語もインドネシア語もみんなに上手く伝わらなくて悩んでいました。その時友達はいらいらする表情を一つもしなくてゆっくり私の話を聞いてくれることや翻訳機を使って理解してくれて改めて心の寛大さを感じました。インターンシップでは、個人ごとでやる事が決まっており、それをみんなで話し合いをしながら計画を立てて、幼稚園に許可を取りに行くことや村長に相談するなど全部学生でやりました。友達は道路整備をしたり、手洗いの重要性を子供たちに教えることや子供たちと一緒にフェルトを丸めてブローチを作ったりなどしていました。そして私は、幼稚園で日本語と英語を教えました。初めは、ちゃんと教えることが出来るか、子供たちが聞いてくれるか不安でした。しかし教えてみるとみんな大きな声で発音してくれて非常にうれしかったです。問題も沢山の子が答えてくれて一生懸命準備してよかったです。また帰る時にはみんなが集まって「ありがとう」と言ってくれて、感動しました。インターンシップ中私は、留学生だったため村長さんの家にホームステイさせてもらいました。村長さんの家は5人家族で一番年が近い女の子が居たので話しやすかったです。お母さんは日本語を勉強したいと言ってくれたので日本語とインドネシア語をお互いに教え合っていました。また挨拶やありがとうは家族全員が日本語を使ってくれてうれしかったです。家族全員がわからないことや不満な所があったらすぐ言ってねと言ってくれたので本当に住みやすく家族のみんなには非常に感謝しています。金曜日の午後や土日は、休日なので友達といちご狩りに行ったり、村長さんの家族と湖に行って船に乗ったり、毎日が楽しかったです。またホームステイで分かったことがいくつもあります。家族以外の男の人が家を訪ねてくると絶対ヒジャブをつけなければドアを開けてはいけないことや夜に男女で歩いてはいけないことなどを知りました。そしてお店の人や初対面の人でも友達のように割と話す時間が長いことがある。知り合ったばかりのインドネシアの人に呼ばれてご飯を食べさせてくれることや家で食べ物や飲み物を勧めてくれることが大変多いこと日本とはまた違う生活や宗教の文化を知ることが出来て、参加させてもらってよかったと思いました。

インドネシアに来る前までは宗教を信仰している人と関わったことがなかったので、宗教を理由に生活が窮屈になることやインドネシアについての情報が少なすぎて非常に不安の方が楽しみより大きかったです。しかし行ってみると多少のルールはあるが、人々は生き生きとマイペースに生活していて、私たちに明るく話しかけてくれることや面倒見よく気遣ってくれて一瞬でインドネシアに魅了されました。イスラム教を生活で感じる機会が非常に多かったので違う宗教にも興味が湧いてきました。そして自分の先入観に囚われることなくまず自分の目で何事も確かめてから発言や考えることがいかに大事かこの留学

でよくわかることが出来ました。そしてインドネシアの人達は全員と言っていいほど面倒見がよく、親切にしてくれたおかげで色々な経験をする事が出来て文化や宗教、人々の性格など沢山の事を学ばせていただきました。私に関わってくれたすべての人たちに感謝しています。これからの生活や将来の職業に少しでもこの経験を生かしていきたいと思
います。

